

### 第3回 武豊町地域再生可能エネルギー導入戦略策定会議 議事録

日時 令和6年10月24日(木) 15時00分～16時30分

場所 武豊町役場 2階 全員協議会室

出席者

(1) 委員 (14名中、出席者12名)

近藤元博会長、佐藤雄哉副会長、川島祥子委員、小野公敬委員、竹内郁子委員、河嶋健委員、岡本佳久委員、永田幹人委員、榊原義朗委員、山田洋久委員、原田愛子委員、有本真由美委員

(2) 事務局

飯田浩雅 (生活経済部部長)、北河晃 (環境課課長)、永田誠 (環境課課長補佐)、森保樹、藤田有輝  
株式会社地域計画建築研究所 (アルパック)

| 発言者   | 議 事                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (事務局) | <p>開会</p> <p>ただいまより、第3回武豊町地域再生可能エネルギー導入戦略策定会議を開催させていただく。</p> <p>1 あいさつ</p> <p>2 開催要件</p> <p>当会議の開催要件について確認し、ご報告をさせていただきます。</p> <p>本日の会議には14名中12名の委員にご出席をいただいている。武豊町地域再生可能エネルギー導入戦略策定会議設置要綱第6条第2項に定める過半数を超えているので、開催要件を満たしていることをご報告する。</p> <p>それでは、議事の進行に移る。要綱第6条第1項により、近藤会長、議事の進行よろしくお願いいたします。</p> |
| (会長)  | <p>3 本日の議案</p> <p>次第の1. 武豊町の地域再生可能エネルギー導入戦略 (素案) について、事務局から説明いたします。</p>                                                                                                                                                                                                                           |

|       |                                                                                                                                          |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (事務局) | 4 武豊町地域再生可能エネルギー導入戦略（素案）について<br>事務局から資料 1，2 について説明を行った。                                                                                  |
| (会長)  | 資料 1「武豊町地域再生エネルギー導入戦略（素案）」について、ご意見やご質問はあるか。                                                                                              |
| (委員)  | 町民の方には、PPA に着目してコラムで解説するよりも、ZEH の方が身近で親しみやすいと思う。身近な例（車庫の上にソーラーポートをつける、新築するときに ZEH にする）、自分に近いところと感じられるようなアイデアがいいと思う。高気密・高断熱には町からの支援はあるのか。 |
| (事務局) | 住宅用の地球温暖化設備に対する補助金の中で、ZEH の家に対する補助がある。また既存の住宅に対するリフォームへの補助、太陽光発電パネルと HEMS と断熱窓改修の 3 点セットにはなるが、12 万円の補助がある。                               |
| (会長)  | 町の窓口へ相談してみようと思えるような情報をコラムで書くのがよい。また導入普及のための入口でもあるので、読んだ先には一つでも二つでも知らなかった情報、やってみようかという仕掛けを入れたほうがいいと思う。                                    |
| (委員)  | 難しい言葉ばかりなので、HEMS、ZEH も分からないで終わってしまうことがないように、コラムなどに書いてもらいたい。設置後のパネルについて、壊れた時の対処方法や補助があるのかを知りたい。                                           |
| (会長)  | 難しい言葉は簡易的にわかるようなコメントを書いてもらえると、調べなくて済むのでいいと思う。                                                                                            |
| (委員)  | 分からない言葉が気になって読み進められないので、視覚的に理解できるようにしてほしい。                                                                                               |
| (会長)  | 農業の部分ではなにかあるか。                                                                                                                           |

|       |                                                                                                                                                                                                                        |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (委員)  | 農業でも、脱炭素に取り組むということか。                                                                                                                                                                                                   |
| (事務局) | 農業者の方についても、これからの展開として、意欲のある方は営農型の太陽光発電を考えてもらいたい。またこれからの商品として、トラックやトラクターのような農機具を、今のディーゼル燃料から電動のものへと切り替えていくことが考えられる。                                                                                                     |
| (委員)  | 補助金はあるか。                                                                                                                                                                                                               |
| (事務局) | その時の状況で判断することになると思う。                                                                                                                                                                                                   |
| (委員)  | 壊れてからなら買いかえる可能性はあるが、今使えるものがあるのに、わざわざ高額なものに変えることは難しいと思う。                                                                                                                                                                |
| (事務局) | <p>今後ガソリンスタンドが減ってきた時に、自分の畑に太陽光発電パネルを置いて充電しトラクターを動かす方が、効率がよくなり、農地も近くに集積していくというような、環境・地域づくりが期待される。</p> <p>農薬を使わない、肥料を減らす農法にすることで、農薬や肥料を作る際のCO<sub>2</sub>削減につながると言える。町においても、進捗管理の中で事業者の方たちの声を聞きながら、いい方法を見出し紹介していきたい。</p> |
| (会長)  | 企業の方でコメントはあるか。                                                                                                                                                                                                         |
| (委員)  | 資料の体裁的なところ、施策に関するオレンジ・緑の色分けの説明等を補足してほしい。                                                                                                                                                                               |
| (委員)  | P32 4行目、当社のヒアリング結果の箇所だと思うが、副次エアーを副生ガスと訂正していただきたい。加熱性のガスではなく可燃性のガスである。                                                                                                                                                  |
| (会長)  | 中小企業の観点はどうか。                                                                                                                                                                                                           |
| (委員)  | 再エネや設備の導入は、事業所も民間個人も多額の費用を伴う。補助金制度や補助金がどういうものがあるかをホームページなど                                                                                                                                                             |

|       |                                                                                                                                                                               |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       | で紹介してほしい。                                                                                                                                                                     |
| (会長)  | 先ほどのコラムの話も含め、見てもらった方にいろんなヒントを与え使ってもらえる仕掛けをしておくことが重要と思う。                                                                                                                       |
| (事務局) | 県の事業で中小企業向けに SDGs、脱炭素の取り組みにおけるコンサル的な事業がある。そのような制度を、商工会を通じて紹介することも可能である。また町の方では設備投資の補助もある。                                                                                     |
| (会長)  | 資料 1 については意見を反映した上で、最後修正したいと思う。<br>では資料 2 「武豊町地域再生可能エネルギー導入戦略の進行管理を行うための指標について」、まず 1 から 4 は町自体がすることである。心意気はどうか。                                                               |
| (事務局) | 建設物価高騰もあり、予算獲得にも影響するので難しい場合もでてくるかと思うが、現状はこのような計画を持っている。                                                                                                                       |
| (会長)  | 1 と 4 の紐付けの中で、予算の話もあると思う。自分で買って設置する形が多いと思うが、例えば、PPA のようなリース型だと、巨額な初期投資をせずに、ランニングの中でお金を払いながら電気を調達していくことができる。<br>町全体で再エネ導入を推進していくときに、町公共施設が率先して 100%再エネとなるようなイメージもあっていいと思うがどうか。 |
| (事務局) | 最近リースでの設備投資が増えていると聞く。また今後進める予定の小中学校の照明の LED 化でも、学校単位でのリース手法もある。今後の事業展開では、リースにより費用の平準化ができる利点もあるので、町独自で設置するかリースにするのか、両方考えていきたい。                                                 |
| (会長)  | 有事の時の蓄電池についてどう考えているか。                                                                                                                                                         |
| (事務局) | 施設の利用状況に合わせて 3 ～ 4 日間程の電気はまかなえるような蓄電池を入れていきたいと考えているが、指標等は持っていない。また小学校 4 ケ所、中学校 2 ケ所の体育館にエアコンが設置し                                                                              |

|       |                                                                                                                                                                                       |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       | <p>である。学校の体育館は避難所として使うことが考えられる。電気、プロパンでの熱源の活用など、災害時でも使えるよう設置をしている。</p>                                                                                                                |
| (副会長) | <p>指標6は、公害防止協定締結事業所は現在 33 社ある。2030 年も 33 社となっているが、これは増えてはいかないのか。</p>                                                                                                                  |
| (事務局) | <p>今は公害防止協定を結んでいないが、事業内容が変わることにより排ガス、排水等、周辺地域への影響に変化が出てきた時や、新たに工業団地をつくる時には、協定数は増えることは考えられる。この 33 社は現状と同じという意味。</p>                                                                    |
| (副会長) | <p>この目標値、現状値のところの 33 社は書かないほうがいいのか。</p> <p>また、専門用語の用語解説を最後につけることはしないのか。</p>                                                                                                           |
| (事務局) | <p>33 社の記載は消させて頂く。また、専門用語の用語解説につきましては、わかりやすくということも含め、載せる方向で作成をしていく。</p>                                                                                                               |
| (副会長) | <p>概要版を作る予定はあるか。</p>                                                                                                                                                                  |
| (事務局) | <p>作る予定をしている。</p>                                                                                                                                                                     |
| (副会長) | <p>A3 の見開きか。</p>                                                                                                                                                                      |
| (事務局) | <p>サイズも含めて分かりやすい構成、レイアウトにしていく。</p>                                                                                                                                                    |
| (委員)  | <p>指標6の再エネの取組み率について、1 社あたりの取組み率は特に問わないのか。</p>                                                                                                                                         |
| (事務局) | <p>再エネの導入に着手してもらうことを重視しているので、工場の施設の屋根の一部に太陽光パネルをのせる、工場敷地の中の空き地に野立でパネルを置くなど、再エネの設置に着手・開始してくれたら、その会社は取組をしていると本指標では判断する。そのため、80%という数字が少し高い目標設定かなと思うが、皆さんに少しでも早く着手して頂きたいという思いで設定している。</p> |

|       |                                                                                                                                            |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (委員)  | 太陽光パネルは現在導入できていないが、証書の買取りだけでもよいのか。                                                                                                         |
| (事務局) | 製造品目の関係で太陽光パネルをつけられない事業所もあるので、太陽光パネルがなくても証書、CO <sub>2</sub> フリー電力を購入して、その工場の排出量削減の取組みをしているのもよい。                                            |
| (事務局) | 6, 7, 8 番についてはハードルを下げ、達成目標を高くしたいというところから 80%にしている。また一方、4 番の公共施設の場合は 60%としており、状況が乖離している。その率のとらえ方についてご意見をいただきたい。                             |
| (会長)  | 企業のハードルが上がっているように見えるが、実は町のハードルの方が高い。小さな一歩でもいいから踏み出して欲しいという町の思いも含めて 80%と書いてある。ご意見を伺いたい。                                                     |
| (委員)  | 最初の一歩は大事と思う。高い目標に見えるが注意書き等で内容が伝わるよう説明があれば、ハードルが低いことがわかるので、その文面を出せば非常にいいと思う。                                                                |
| (委員)  | 町の方が、ハードルが高いことを明確にすればよい。町民・事業所は一歩を踏み出すことを重視しており、一方で町は全体の使用量に対して 6 割という導入率であることが分かれば、町の方が低いとは思われない。                                         |
| (委員)  | コストがかかる話なので、町民がかぶるのであれば、予算編成の中にどう盛り込まれるかの方が大事。また、それを予算に盛り込んで推進していくことが大事。あと、質問ですが、町が企業よりも先立ってやっていくときに、カーボンプライシングはどのぐらい考えているか。企業にも教えていただきたい。 |
| (事務局) | まだ検討できていない。これから考えていく。                                                                                                                      |
| (会長)  | 2026 年から排出権取引が、企業は試行から本格稼働になるの                                                                                                             |

|       |                                                                                                                                                                                  |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       | <p>で、国が決める基準よりも排出量を超えたところは、相対取引、市場、証書で対応するなどの方法がでてきて、いろいろな意味で企業の行動変容に繋がると思う。</p> <p>1%でも5%でも再エネを使おうとか、再エネ由来のものを使っていこうという活動は加速すると思うので、中途半端に60や80%よりは、100%でもいいかと思ったが、副会長、いかがか。</p> |
| (副会長) | <p>おそらく、町として2030年のあとの展開を考えており、だから2030年は80%と理解をしたが、どうか。</p>                                                                                                                       |
| (事務局) | <p>お見込みのとおりで、2050年ゼロカーボンに向けて、2030年は国の施策目標に沿う設定としている。</p> <p>建設物価と経済的な部分の動きが読み切れない状況にあり、随時見直していく形で施策を進めたい。</p>                                                                    |
| (委員)  | <p>最初の一步だけ踏み出せばいいのであれば、個人的には100%でもいいかと思う。企業はやらざるをえないが、町民の方の初めの一步は大変だと思う。踏み出せるようなきっかけづくりが重要と思う。</p>                                                                               |
| (委員)  | <p>弊社でも考えていかないといけないと思った。</p>                                                                                                                                                     |
| (副会長) | <p>導入戦略本体の方で、2章 町の現状と課題のところに、事業者と町民と行政が一体となってゼロカーボンシティ宣言をしたことを入れた方がいいと思う。</p>                                                                                                    |
| (事務局) | <p>その方向で調整する。</p>                                                                                                                                                                |
| (会長)  | <p>企業のところは一旦80%ということで皆さんに合意いただいたこととする。</p> <p>それ以外の項目はどうか。</p>                                                                                                                   |
| (委員)  | <p>再エネの導入だけでなく、環境保全の視点も大事と思う。新たに太陽光発電設備を置くだけでなく、既存の環境を守ることにも力を入れていかないと、町民の気持ちが柔らかくならないのでは。</p>                                                                                   |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (副会長) | <p>評価の指標にも関わってくる。アンケートで「地球温暖化対策に取り組んでいる」で「はい」とは答えにくい。何がこの防止対策にあたるかわからないから、数値が低くでる可能性がある。しかし日常生活で、節電やごみの分別等、敷居が低いものは、すでに取り組んでいる。町民の方にそこが大事だと伝え、またこのような取り組みでいいと分かってもらえるような説明がある。目標値や項目はこれでいい。</p>                                                                                                                                                                                                  |
| (事務局) | <p>再生可能エネルギー導入に重きがあったが、成果指標はそれ以外のところにあり、齟齬があると改めて認識をした。区域施策編ともリンクさせながら、内容を補記し組み替えをしたい。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| (委員)  | <p>常滑の近くのお墓の奥に、自然豊かな山奥を切り開いて太陽光パネルをつけているところがある。企業として太陽光パネルをつけてくださいと言われれば、山を買い、そのような設置をするやり方もあるが、武豊町の方向性としては、それでもいいと考えるのか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| (事務局) | <p>太陽光発電施設を置くためのガイドラインを作成しており、その内容に沿った形で運用をお願いしている。また町の関係各課が法令に照らし合わせ手続きを行っている。ただ従前のものについてガイドラインはないが、内容は確認をしており違法ではないという認識である。</p> <p>池の水質への影響をモニタリングしており、その環境が維持でき守られているかの確認をしている。</p> <p>今回のこの導入戦略にあたり配慮すべき区域、国の基準を踏まえて誘導するものにしており、いたずらに武豊町内どこでも、太陽パネルを置いてくださいという計画ではない。</p> <p>新産業立地の検討ゾーンという、武豊町に工業用地をとという声もある。そのような声と法令と照らし合わせて、皆さんの生活に、大きく影響がないよう物事が進んでおり、この再生可能エネルギーの導入についても配慮して参りたい。</p> |
| (会長)  | <p>アンケートも含めて理解を進めていく、意識が変われば行動が</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |



|       |                                                                                                                                                                                                 |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       | <p>変わる。それにより太陽光パネルなのか、施設設備を変えていき、家庭の中の電力が減るもしくはクリーンになっていくかだと思う。そのような定点観測ができればよい。</p>                                                                                                            |
| (委員)  | <p>CO<sub>2</sub>排出量は、どこからデータを引っ張ってきているのか。電気の中の再生可能エネルギー比率に絞るのはどうか。ゼロカーボンシティはハードルが高いので、電力の再生可能エネルギー化の方が絞り込めて実現可能な感じがする。</p>                                                                     |
| (事務局) | <p>CO<sub>2</sub>排出量は、国で出されている数字と、県のエネルギー消費量を元に案分した統計上の数字になる。特定事業者については、武豊町は産業部門の排出量が多い特徴があるので、そこは実績値を活用している。電気ではない燃料部分をどう減らしていくかが大きな課題であるので、今の指標としては、燃料も含め全体をどうカーボンニュートラルにしていくかという視点としている。</p> |
| (委員)  | <p>農業者の方はなかなか難しいところもある。農業用水を流す土地改良区で、池にソーラーパネルを設置しポンプを動かしている事例がある。率先してやっていってもいいと思った。</p>                                                                                                        |
| (委員)  | <p>中小企業のサポートは、愛知県にプラットフォームがあり、信用金庫、企業、公共団体の3つで対応している。最近の動向はわからないが相談窓口があるのでご案内する次第。</p>                                                                                                          |
| (会長)  | <p>KPI の議論をしてきたが、これでよろしいか。異議がなさそうなので、資料1と資料2については皆様のご同意いただいたとさせていただきます。</p>                                                                                                                     |
| (事務局) | <p>5 その他 今後の予定について</p> <p>事務局から資料3について説明を行った。</p> <p>令和6年11月15日～12月16日 パブリックコメント手続き実施</p> <p>令和7年1月 武豊町環境保全対策審議会</p> <p>令和8年3月 戦略の策定予定</p> <p>策定した戦略は、委員の皆様と共有したいと考えている。</p>                    |

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (会長)   | <p>資料3について、ご質問あるか。</p> <p>資料1、2について、パブリックコメントを受けて大幅な修正がある場合、事務局と私の方で構成し諮問にかけたいと思うが、よろしいか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                |
| (委員一同) | 同意                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| (会長)   | <p>ありがとうございます。</p> <p>以上で本日の議論は終了とする。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| (事務局)  | <p>6 あいさつ</p> <p>会長、委員の皆様方には、ご多忙のところ3回の策定会議にご出席を賜り、誠にありがとうございます。様々なご意見、ご提言等をいただき、ここまで来ることができた。そして、今後、環境保全対策審議会を経て戦略を策定し、次年度以降、目標に向かって推進をしていくことになる。また引き続きお世話になりますが、ご理解とご協力、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。</p>                                                                                                                                                      |
| (会長)   | <p>今回の策定案カーボンニュートラルは長い道のりでありながらも着実にやっていかなくてはならない。来年2月には日本も2035年目標を出すことになっている。原子力や再エネの日本全体の大きな動きなどのエネルギー基本計画や、EV、ハイブリッド、PHV、水素ガスなどの交通分野もある。海外ではバイオ燃料、E10が普及しており、同じ燃費であれば10%バイオ燃料を使うのでカーボンニュートラルに近づく議論も始まっている。少しずつ日本の施策が動き始めている。</p> <p>武豊町が再エネの町になり、それが企業誘致につながり、さらなる発展があるといいと思う。</p> <p>今日の議題を終えたいと思う。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p> |